

1. 平成30年度 図書館の方針と重点

【 方針 】

- 図書館資料の収集、充実、活用を図る。
- 図書館サービスを提供する。
- 読書活動を推進する。
- 図書館施設の維持管理を行う。

【 重点 】

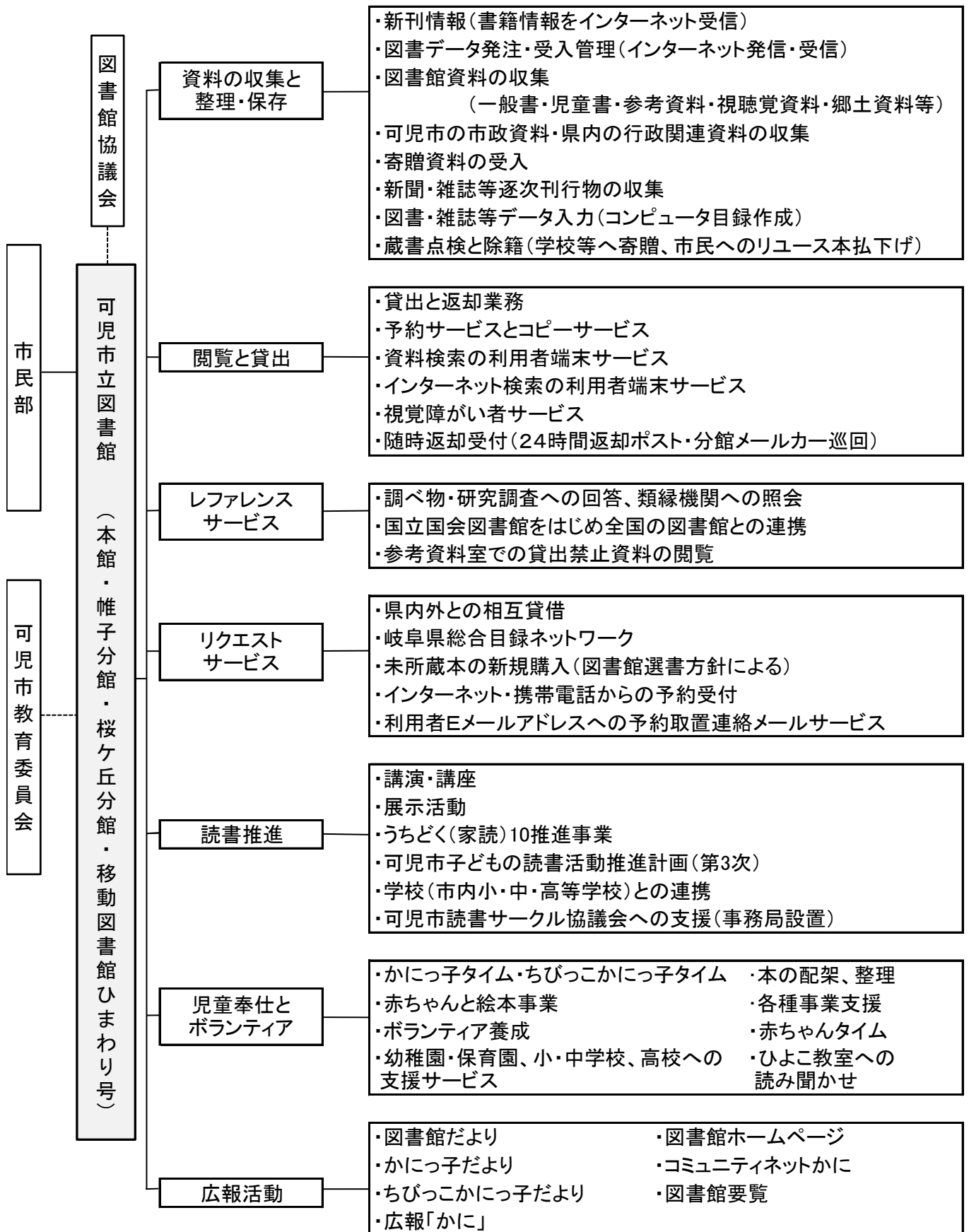
施策の名称	平成30年度に重点的に取り組む内容
図書館サービスの提供と読書活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ① 選書基準に基づいた適時、適切な図書等の購入と除籍による蔵書の有効活用を図る。 ② 郷土資料や行政資料の収集及び充実を図る。 ③ 除籍図書等のリユース事業を行う。 ④ 適切な図書の貸出やレファレンスを実施し、利用者サービスの充実を図る。 ⑤ 可児市子どもの読書活動推進計画(第3次)の進行管理を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・読書関連イベント(年2回)や講座の開催 ・「かにつ子タイム」等絵本の読み聞かせ活動の実施 ・乳児健診時の「赤ちゃん絵本事業」の実施 ・子育て健康プラザでの読み聞かせ活動の開設実施 ⑥ 読書に関する市民講座や展示(16回)の充実を図る。 ⑦ 移動図書館(31カ所、月11回)の運行を行う。 ⑧ 子育て健康プラザと連携し、双方の利用者拡大を図る。
だれもが参加できる生涯学習施設環境の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ① 本館と分館の適切な維持管理を実施する。 ② 利用者目線に立った修繕を実施し、施設の充実を図る。

2. 図書館のあゆみ

年	月	あゆみ	年	月	あゆみ	
昭和53(1978)年	3月	可児農業協同組合から用地961㎡購入(建物寄付)	平成11(1999)年	10月	第14回国民文化祭・ぎふ99 文芸児童文学大会(於・生涯学習センターゆとりピア) 図書館が創作部門を担当	
	7月	可児町立図書館開館		12月	『可児市の古文書2』発行	
		可児町立図書館協議会発足	平成12(2000)年	4月	子ども読書年記念(展示・講座)	
		開館記念 井上靖氏(作家)講演会		11月	電算システムをNEC「LIVRE」に更新 図書館ホームページ開設	
昭和56(1981)年	8月	移動図書館ひまわり号始動	平成13(2001)年	4月	コイン式コピー機導入	
昭和57(1982)年	4月	市制施行で可児市立図書館となる		3月	読書推進文集『としょかん広場』発行	
昭和59(1984)年	11月	図書館新館完成	平成14(2002)年	4月	土岐市、犬山市民への図書の貸出開始	
昭和60(1985)年	1月	図書館業務開始(富士通「ライムス」に電算化) 図書館展示活動開始			赤ちゃんと絵本事業開始	
	4月	かにっ子タイム開始(毎週土曜日)			小学校新1年生全員に「利用案内」と「かにっ子だより」を配布	
昭和61(1986)年	11月	貸出冊数を1人3冊から5冊に変更する		利用者向けインターネット端末を設置		
				6月	市制施行20周年記念『私の理想の図書館』作文募集	
昭和62(1987)年	4月	「かにっ子だより」発行開始(月1回)		7月	市制施行20周年記念「図書館のあゆみ」展開催	
	8月	夏休みおはなし広場開始			市制施行20周年記念「かに郷土かるた」大型版作成・配布	
昭和63(1988)年	11月	図書館開館10周年記念水上勉氏(作家)講演会		12月	視聴覚資料専用返却ポスト設置(本館)	
平成元(1989)年	4月	隣接市町村への図書の貸出開始			4月	本館の平日の閉館時間を午後7時に変更
	平成2(1990)年	7月		夏休み期間中の開館時間を9時30分に変更	7月	名城大学との連携事業 大学教授による講演会
平成3(1991)年		10月	電算システム富士通「ILIS/X-50」に更新	平成15(2003)年	9月	「ちびっこかにっ子タイム」開始(本館)
	7月				市制施行10周年記念「かに郷土かるた」完成・配布 市制施行10周年記念しみずみちお氏(作家)講演会	10月
	8月	市制施行10周年記念「身隠薪能」上演	11月		利用者端末に「フィルターソフト」を導入	
	9月	市制施行10周年記念「可児市の10本の木」選定	3月		可児市文庫協議会解散	
	11月	市制施行10周年記念宮本輝氏(作家)講演会			読書推進文集第3集『子どものための本の紹介』発行。	
平成5(1993)年	11月	帷子分館開館(帷子公民館内)	平成16(2004)年	4月	「平成16年度子どもの読書活動優秀実践図書館」として文部科学大臣表彰を受賞	
	12月	ケーブルテレビ「図書館だより」放送開始			可児市コレクション(良書保存)の開始	
平成6(1994)年	3月	市内小学生「かに郷土かるた」大会開催		5月	5月1日かにっ子タイム累計1000回達成(本館)	
	4月	可児市立図書館利用規定作成		10月	市内全小学校へ移動図書館巡回開始	
		国立国会図書館貸出制度加入		11月	市民への本の払い下げ(リユース)開始	
平成7(1995)年	10月	盲人用録音物等受発施設指定		12月	読書推進文集第4集『推薦児童書リスト』発行	
		電算システムを富士通「ILIS/X-30」に更新			団体貸出「バック詰めサービス」開始	
平成8(1996)年	4月	美濃・飛騨合併120年記念行事(講座・展示・出版)		平成9(1997)年	3月	『郷土の本』、『可児市の古文書1』を発行
平成9(1997)年	9月	市制施行15周年記念・図書館開館20周年記念(展示・講座・NHK週刊ブックレビュー協力)			1月	本館昇降機地震時管制運転装置設置
	平成10(1998)年	6月		可茂地区公共図書館連絡協議会合同公演 林真理子氏(作家)講演会(於・可児市)	平成17(2005)年	5月
平成11(1999)年			3月	帷子分館新館開館(帷子公民館敷地内)		
	8月	読書サークル協議会設立25周年記念合同講演 田辺聖子氏(作家)講演会	図書館システム更新に関するプロポーザル 選定委員会設立			
		進学・就職コーナー開設	兼山町合併関連事業として講座、展示実施			
			8月	「可児市子どもの読書活動推進計画」策定委員会設立		

年	月	あゆみ	年	月	あゆみ	
平成17(2005)年	10月	電算システムを三菱「MELIL・CS」に更新	平成24(2012)年	2月	うちどく(家読)10推進講演会 清水千秋氏(東京子ども図書館)	
		インターネット、携帯電話からの予約受付開始			5月	「うちどく(家読)10」リーフレットを市内全中学生、及び近隣高校に配布
平成18(2006)年	3月	「可児市子どもの読書活動推進計画」策定		7月		公共交通機関で来館された利用者へ「本だ！くん」しおりを配布
		4月				本館のみ土・日・月の祝日開館実施
	子どもの読書活動啓発用幟旗作成・配布					
	図書館ボランティア活動開始					
6月	わくわく体験館支援「ガラスコーナー」開設	平成25(2013)年		1月	成人式用リーフレットを配布	
12月	5年間未利用者データ削除			2月	本館書架転倒防止工事、洋式トイレ設置工事	
平成19(2007)年	4月			かにつ子タイム読み聞かせボランティア全面依頼	2月	うちどく(家読)10推進講演会 市毛愛子氏(名古屋経済大学短期大学部)
				10月		本館一般書架の蔵書再構築実施
	「多文化サービスコーナー」新設		3月	「新図書館を語る職員懇談会からの報告書」完成		
12月	「可児市子どもの読書活動推進計画アクションプラン」策定		4月	本館「赤ちゃんタイム」開始		
	4月		「可児市子どもの読書活動推進計画アクションプラン」策定	4月	「うちどく(家読)10通帳」の配布開始	
平成20(2008)年	1月		図書館(本館)来館者アンケート調査の実施	9月	貸出冊数を5点から10点に変更	
	4月		本館の開館日の拡大(毎週月曜日と、月の最終金曜日のみ休館)	12月	「ひよこ教室」への読み聞かせ開始	
	8月		「うちどく(家読)10コーナー」新設	平成26(2014)年	1月	本館受電設備改修工事発注
	10月	移動図書館ひまわり号の巡回時間・ステーションの見直し	2月		講演会「魅力ある図書館づくり」 平湯文夫氏(図書館づくりと子どもの本の研究所主宰)	
平成21(2009)年	2月	利用者向けインターネット端末を閲覧室へ移動	4月	雑誌オーナー制度を開始		
		ボランティア自主グループ「あおむしくん」発足	12月	本館外壁改修工事発注		
	7月	名城大学附属図書館都市情報学部分館との「相互協力に関する協定」の締結	12月	本館エレベータ改修工事発注		
8月	「うちどく(家読)10」リーフレットを市内全小学生に配布	平成27(2015)年	1月	図書館福袋貸出実施 可児工業高等学校より紙芝居用の台の贈呈を受ける		
平成22(2010)年	2月		パスファインダーコーナー設置	4月	図書館システム更新に関するプロポーザル選定委員会設立	
	3月		可児市子どもの読書アンケート調査を実施(市内小中学校)	9月	本館屋上防水工事発注 本館1階ロビー照明工事発注	
	3月		24時間テレビチャリティ委員会から障がい者サービス用機器の贈呈を受ける	10月	電算システムを京セラ丸善「ELCIELO」に更新	
	4月		分館の開館日の拡大(毎週月曜日と、月の最終金曜日のみ休館)		ホームページをリニューアル	
	10月		電算システムを三菱「MELIL・CS」に更新	2月	ボランティア「本の修理の会」発足	
平成23(2011)年	3月	うちどく(家読)10推進講演会 さくまゆみこ氏(翻訳家)	平成28(2016)年	3月	「可児市子どもの読書活動推進計画(第3次)」策定	
		「可児市子どもの読書活動推進計画(第2次)」策定		6月	ヤングアダルトおすすめ図書コーナーを設置	
	4月	インターネット予約による在館本取置開始		8月	レシート広告の募集	
	4月	東日本大震災の避難者に対する資料貸出に関する特別支援を開始	9月	本館1階展示コーナーと新聞・雑誌コーナーを入替		
	5月	「図書館だより」発行開始	平成29(2017)年	1月	可児工業高等学校より紙芝居用の台の贈呈を受ける	
	7月	市職員で構成する「新図書館を語る職員懇談会」第1回開催		2月	バリアフリー絵本のおすすめリストを作成 バリアフリー絵本コーナーを設置	
	10月	長期(2ヶ月以上)未返却に対する貸出停止規定を定め運用を開始する		10月	「うちどく(家読)10通帳」リニューアルし、市内中学1年生へ配布	
	平成30(2018)年	1月	市内中学1年生へ「うちどく(家読)10」推薦図書リストを配布	3月	本館放送設備改修(プログラムチャイム設置) 本館2階男子トイレ和式から洋式へ改修	

3. 平成30年度 図書館業務組織図



4. 図書館協議会

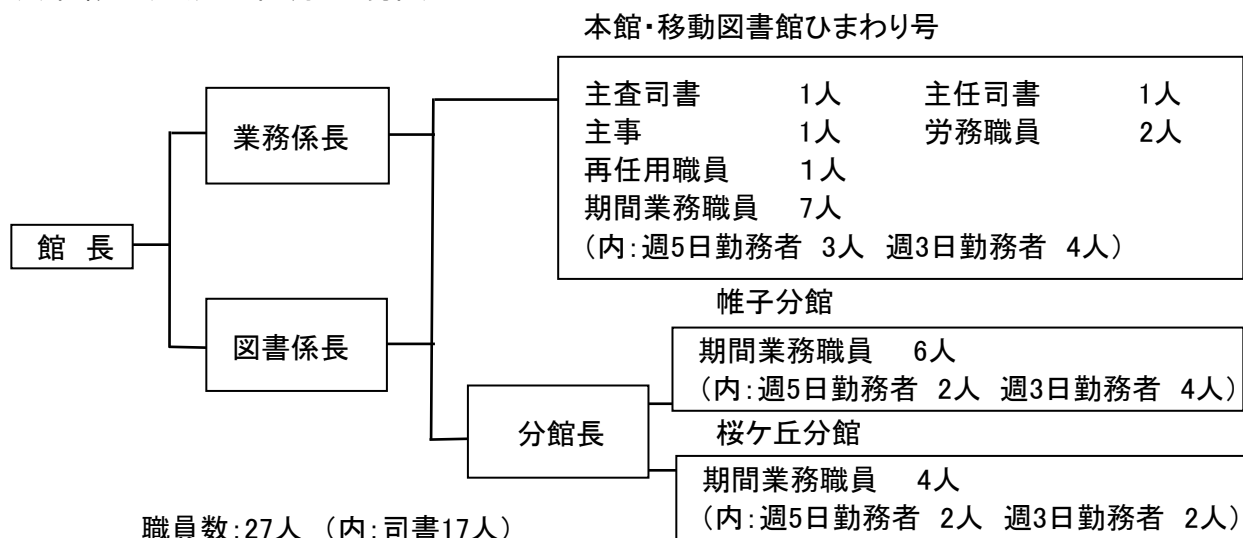
図書館協議会委員名簿

(順不同・敬称略)

任命区分	平成29年度	平成30年度
学校教育関係者	可児市立広陵中学校 校長 野田 守彦	可児市立春里小学校 校長 野田 守彦
〃	岐阜県立可児工業高等学校 校長 西垣 幸司	岐阜県立可児高等学校 校長 櫛部 祐成
〃	大栄幼稚園・今渡幼稚園 園長 田中 康順	トキワ幼稚園 園長 池田 薫
社会教育関係者	可児市文化協会文芸部 部長 田上 勇嗣	可児市文化協会文芸部 部長 田上 勇嗣
〃	可児市高齢者大学運営委員 委員長 中島 幸雄	可児市高齢者大学運営委員 委員長 中島 幸雄
〃	可児市青少年育成推進委員会 育成部長 奥村 啓治	可児市青少年育成推進委員会 育成部長 兼岩 正男
〃	可児市公民館連絡協議会 副会長 富田 清	可児市地区センター連絡協議会 副会長 野村 利道
〃	可児市PTA連合会母親委員会 代表 宇野 訓代	可児市PTA連合会母親委員会 代表 山田 鏡子
〃	可児市読書サークル協議会 会長 前田 三紀	可児市読書サークル協議会 会長 前田 三紀
学校教育関係者	可児市学校司書会 代表 中澤 亜記	可児市学校司書会 代表 伊藤 裕美

5. 図書館概要

(1) 組織 (平成30年4月1日現在)



(2) 決算額と予算額の概要

館種別	資料費の内訳	平成29年度決算額	平成30年度予算額
本館	図書費	11,995,799	11,880,000
	視聴覚資料	444,706	500,000
	雑誌・新聞等	1,298,140	1,400,000
帷子分館	図書費	3,431,824	3,560,000
	視聴覚資料	51,515	60,000
	雑誌・新聞	706,587	800,000
桜ヶ丘分館	図書費	1,981,960	1,970,000
	視聴覚資料	45,260	30,000
	雑誌・新聞	586,423	619,000
	計	20,542,214	20,819,000

(3) 奉仕体制

・開館時間

〔本館〕 (火～金) 午前10時～午後7時
(土・日・祝日) 午前10時～午後5時
(市内公立小中学校の夏休み期間中の開館時間は、午前9時30分)

〔分館〕 (火～日) 午前9時～午後5時

・休館日

〔本館・分館〕 毎週月曜日・毎月最終金曜日・年末年始(12月28日～1月4日)

・利用方法

1. 利用資格
 - ・市内在住、在勤、在学
 - ・美濃加茂市、多治見市、土岐市、御嵩町、加茂郡又は愛知県犬山市に在住の人
2. 登録
 - 1人1枚のカードの利用登録をする。
 - (本館、分館、移動図書館は共通のカード)
3. 貸出
 - 1人10点
 - 貸出期間〔本館・分館〕3週間
 - 〔移動図書館〕次の巡回日
4. 団体貸出
 - 登録している団体にまとめて貸出をする。

6. 平成30年度 図書購入年間計画

予算額…18,000千円

No.	項 目	本年度予算	前年度予算	増減額(千円)	備 考	目標冊数
図書館本館 図書予算額		12,380	12,380	0		7,625
1	新刊案内(リスト選書) 一般書	7,200	7,200	0	153千円×47週	4,500
2	新刊案内(リスト選書) 児童書	1,800	1,800	0	38千円×47週	1,380
3	新刊案内ベル 日本文芸書HA	420	420	0	新刊書の急行配達本(年間契約)	260
4	新刊案内ベル 日本文芸書HB	210	210	0	新刊書の急行配達本(年間契約)	130
5	新刊案内新継続	50	50	0	発行時に受入れ	20
6	リクエスト本	500	500	0	10千円×47週	310
7	参考資料	300	300	0	辞書、事典、年鑑、白書等	50
8	郷土資料	60	60	0	可児市及び岐阜県に関する資料	30
9	紙芝居	40	40	0		20
10	視聴覚資料	500	500	0	CD、DVD等	125
11	問屋、その他の書店	1,300	1,300	0	問屋での直接購入、訪問販売等	800
帷子分館 図書予算額		3,620	3,620	0		2,315
1	新刊案内(リスト選書) 一般書	2,300	2,300	0	48千円×47週	1,430
2	新刊案内(リスト選書) 児童書	850	850	0	18千円×47週	650
3	視聴覚資料	60	60	0	CD、DVD等	15
4	リクエスト本	310	310	0	6.5千円×47週	190
5	問屋、その他の書店	100	100	0	問屋での直接購入等	30
桜ヶ丘分館 図書予算額		2,000	2,000	0		1,278
1	新刊案内(リスト選書) 一般書	1,500	1,500	0	42千円×47週	930
2	新刊案内(リスト選書) 児童書	400	400	0	13千円×47週	300
3	視聴覚資料	30	30	0	CD、DVD等	7
4	リクエスト本	60	60	0	1.2千円×47週	35
5	問屋、その他の書店	10	10	0	問屋での直接購入等	6
本館・2分館全合計		18,000	18,000	0		11,218